

# 日本医療大学学則

(平成 26 年 4 月 1 日制定)

## 第 1 章 総 則

### (目 的)

第 1 条 日本医療大学(以下「本学」という。)は、教育基本法及び学校教育法並びに建学の精神に基づき、深く専門の学術を教授及び研究し、人間尊重を基盤とした専門職業人を育成して、社会の発展に寄与するとともに人々の健康及び生活の向上に貢献することを目的とする。

### (所在地)

第 2 条 本学保健医療学部看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科、臨床検査学科及び臨床工学科は、札幌市豊平区月寒東 3 条 11 丁目 1 番地 50 号に置く。

2 本学総合福祉学部介護福祉マネジメント学科及びソーシャルワーク学科は、札幌市清田区真栄 434 番地 1 に置く。

### (自己評価等)

第 3 条 本学は、教育水準の向上及び活性化を図り、その目的と社会的使命を果たすため、教育研究活動等について自己点検及び評価を行う。

2 自己点検及び評価に関する事項については、別に定める。

### (ファカルティ・ディベロップメント)

第 4 条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究の実施に努めるものとする。

### (情報公開)

第 5 条 本学は、教育研究活動等の実施及び成果に関する情報を広く社会に公開するよう努めるものとする。

## 第 2 章 学部、学科、大学院及び修業年限

### (学部、学科及び大学院)

第 6 条 本学に、保健医療学部を置き、次の学科を置く。

- (1) 看護学科
- (2) リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻
- (3) 診療放射線学科
- (4) 臨床検査学科
- (5) 臨床工学科

2 本学に、総合福祉学部を置き、次の学科を置く。

- (1) 介護福祉マネジメント学科
- (2) ソーシャルワーク学科

3 本学にヒューマンデザイン学部を置き、次の学科を置く。

- (1) 医療DXマネジメント学科
- (2) 共生社会デザイン学科

4 本学に通信教育部を置き、通信教育部は総合福祉学部ソーシャルワーク学科に置く。

5 通信教育部の通信教育課程に関する事項は別に定める。

6 本学に、大学院を置き、次の研究科を置く。

- (1) 保健医療学研究科

7 大学院の学則は別に定める。

(本学の学部及び学科の教育上の目的)

## 第6条の2

生命の尊厳の理念に基づき、豊かな感性と教養で人間性を高め、高度な知識と技術を学修し、倫理的及び論理的な実践力で、地域社会に貢献する専門職業人を育成する。

(修業年限)

第7条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。

2 第16条により許可を得て留学した期間は、前項の修業年限に算入することができる。

## 第3章 入学定員及び収容定員

(入学定員及び収容定員)

第8条 本学の入学定員及び収容定員は、別表第1のとおりとする。

## 第4章 入学、休学及び退学等

(入学時期)

第9条 入学の時期は毎年4月とする。

(入学資格)

第10条 本学に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)

- (3) 外国において、学校教育による 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (8) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認められた者

(入学の出願)

第 11 条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて願いでなければならない。

2 提出期限、方法、提出すべき書類等に関する事項については、別に定める。

(入学者の選考)

第 12 条 入学志願者については、所定の入学試験を行い、合格者を決定する。

2 入学者の選考に関する事項については、別に定める。

(入学の手續及び入学許可)

第 13 条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに所定の手續きを完了した者に、学長は入学を許可する。

2 入学手續に関する事項については、別に定める。

(編入学及び転入学)

第 14 条 本学への編入学を志願する者、または他大学の学生で本学に転入学を志願する者があるときには、選考のうえ、学長は教授会に意見を求め相当年次に入学を許可することがある。

(転学部転学科)

第 15 条 本学の学生で、本学の他学部他学科への転学部転学科を志望する者があるときには、選考のうえ、学長は教授会に意見を求め相当年次に転学を許可することがある。

(留 学)

第 16 条 外国及び国内の大学に留学を志望する者があるときには、学長は教授会に意見を求め留学を許可することがある。

(休 学)

第 17 条 疾病その他やむを得ない事由により、3 月以上修学できない者は、所定の書類を提出し、学長は教授会に意見を求め休学を許可することがある。

2 疾病その他の事由により修学が不相当と認められる学生に対して、学長は休学を命ずることがある。

3 休学期間は 1 年以内とする。ただし、通算して 2 年を超えることができない。

4 休学期間は、第 7 条に定める修業年限の期間に算入しない。

(復 学)

第 18 条 休学期間が満了したとき、又は休学期間中にその理由が消滅したときは、所定の書類を提出し、学長は教授会に意見を求め復学を許可することがある。

(退 学)

第 19 条 学生が退学しようとするときは、所定の書類を提出し、学長は教授会に意見を求め、許可する。

(再入学)

第 20 条 前条による退学者が 3 年以内に再入学を願い出た場合には、学長は教授会に意見を求め、これを許可することがある。

(除 籍)

第 21 条 学生が次の各号のいずれかに該当する場合には、学長は教授会に意見を求め、除籍することができる。

(1) 第 7 条に規定する在学期間を超えるとき

(2) 死亡の届出があったとき

(3) 長期にわたり行方不明の届出があった場合

(4) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納入しないとき

(5) 休学期間満了前に、復学、退学又は休学の願い出がないとき

(6) 入学を辞退したとき

(外国人留学生)

第 22 条 外国人留学生とは、外国人で本学において教育を受ける目的をもって入学を志願し、許可された者をいう。

2 外国人留学生規程は、別に定める。

## 第 5 章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第 23 条 学年は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(学 期)

第 24 条 学期は次の 2 学期に分ける。

- (1) 前期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで
- (2) 後期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

(休業日)

第 25 条 休業日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）で規定する日
- (3) 創立記念日（5 月 2 日）
- (4) 春季休業
- (5) 夏季休業
- (6) 冬季休業

2 学長が必要と認めた場合には、前項の休業日を変更することができる。

## 第 6 章 授業科目、履修方法、試験及び成績の評価

(授業科目)

第 26 条 授業科目は、必修科目及び選択科目とする。

2 授業科目及び単位数は、別表第 2 のとおりとする。

(授業科目の履修方法)

第 27 条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかの方法により又はこれらの併用により行う。

なお、授業科目の履修方法に関する事項は、別に定める。

2 前項の授業を、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室以外の場所で履修させることができる。

(単位数の計算方法)

第 28 条 各授業科目の単位数は、1 単位について 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 1 つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2 以上の方法の併用により行う授業については、前各号の組み合わせに応じ、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

(試験)

第 29 条 履修した授業科目については、定期の試験を行い、学業成績を考査する。

- 2 試験に関する事項については、別に定める。

(成績の評価)

第 30 条 授業科目の成績の評価は、AA、A、B、C及びDとし、AA、A、B及びCを合格とする。

- 2 前項の成績評価基準については、あらかじめ明示するものとする。
- 3 合格した授業科目については、所定の単位を与える。
- 4 前項の成績は、学生に通知する。

(他大学等の授業科目の履修)

第 31 条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを認めることができる。

- 2 前項により学生が履修した授業科目について修得した単位は、60 単位を超えない範囲で本学において修得した単位と認めることができる。
- 3 第 1 項及び前項により学生が授業科目を履修するために本学を離れて他の地に滞在する期間は、本学の在学期間に含めることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第 32 条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生の制度により修得した単位を含む)を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 学長が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなすことができる。
- 3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては前条により本学において履修したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

## 第 7 章 卒業及び学位授与

(卒業)

第 33 条 本学に 4 年以上在学し、別表第 2 及び別表第 3 に定める所定の授業科目及び単位を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

- 2 前項の卒業認定基準については、あらかじめ明示するものとする。
- 3 第 1 項の在学年限には、休学の期間を算入しない。

(学位の授与)

第 34 条 卒業証書を授与された者には、次の区分に従って学士の学位を授与する。

保健医療学部

看護学科 学士(看護学)

リハビリテーション学科 学士(リハビリテーション学)

診療放射線学科 学士(診療放射線学)

臨床検査学科 学士(臨床検査学)

臨床工学科 学士(臨床工学)

総合福祉学部

介護福祉マネジメント学科 学士(福祉経営学)

ソーシャルワーク学科 学士(社会福祉学)

2 修士の学位授与については別に定める。

(資格の取得)

第 35 条 保健医療学部看護学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、保健師助産師看護師法に基づき、看護師国家試験の受験資格が与えられる。

2 保健医療学部リハビリテーション学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、理学療法士及び作業療法士法に基づき、理学療法士国家試験又は作業療法士国家試験の受験資格が与えられる。

3 保健医療学部診療放射線学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、診療放射線技師法に基づき、診療放射線技師国家試験の受験資格が与えられる。

4 保健医療学部臨床検査学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、臨床検査技師法に基づき、臨床検査技師国家試験の受験資格が与えられる。

5 保健医療学部臨床工学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、臨床工学技士法に基づき、臨床工学技士国家試験の受験資格が与えられる。

6 総合福祉学部介護福祉マネジメント学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、社会福祉士法及び介護福祉士法に基づき、介護福祉士国家試験の受験資格が与えられる。

7 総合福祉学部ソーシャルワーク学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、社会福祉士法及び介護福祉士法または精神保健福祉士法に基づき、社会福祉士国家試験または精神保健福祉士国家試験の受験資格が与えられる。

第 8 章 入学検定料、入学金及び授業料等

(授業料等)

第 36 条 入学検定料、入学金及び授業料等の金額は、別表第 4 のとおりとする。

(授業料等の納付)

第 37 条 授業料等は、別に定める期日までに納付しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる者は、学長の許可を得て延納することができる。

(納付金の取扱い)

第 38 条 納付した入学検定料及び入学金は返還しない。

2 入学検定料、入学金及び授業料等の取扱いに関する事項は、別に定める。

## 第 9 章 別 科

(別科の名称)

第 39 条 本学に留学生別科を置く。

2 別科に関する事項については、別に定める。

## 第 10 章 賞 罰

(表 彰)

第 40 条 学生として表彰に値する行為があった者は、学長が教授会に意見を求め表彰することがある。

(懲 戒)

第 41 条 本学の学則に違反し、又は学生の本分に反する行為をした者は、学長が教授会に意見を求め懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、戒告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当した学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由なくして出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

## 第 11 章 教職員組織

(職員の種類)

第 42 条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員その他必要な職員を置く。

(学 長)

第 42 条の 2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統監する。

(学部長)

第 43 条 学部に学部長を置き、本学の教授をもって充てる。

2 学部長は、学部に関する事項を統括する。

(学科長)

第 44 条 学科に学科長を置き、本学の教授をもって充てる。

2 学科長は学部長を補佐し、学科に関する事項を総括する。

(事務局)

第 45 条 本学に事務局を置く。

2 事務局に関する事項については、別に定める。

## 第 12 章 教授会等

(教授会)

第 46 条 本学に教授会を置き、教授会に関する事項については、別に定める。

(委員会)

第 47 条 本学に、大学運営に必要な委員会を置くことができる。

2 委員会に関する事項については、別に定める。

## 第 13 章 附属施設

(附属図書館)

第 48 条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する事項については、別に定める。

(研究所)

第 49 条 本学に、認知症研究所を置く。

2 認知症研究所に関する事項については、別に定める。

(キャリアセンター)

第 50 条 本学に、キャリアセンターを置く。

2 キャリアセンターに関する事項については、別に定める。

## 第 14 章 雑 則

(改 廃)

第 51 条 本学学則の改廃は、学長が教授会に意見を求め、理事会の議を経て、理事長が行う。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年 3 月末日に在学する学生については、従前のおりとする。
- 3 第 8 条第 1 項に規定する保健医療学部看護学科及びリハビリテーション学科の「収容定員」は、同項の規定に関わらず、平成 31 年度から平成 33 年度までは、次表のおりとする。

学 科	定 員	収 容 定 員			
	年 度	入 学 定 員	平 成 31 年 度	平 成 32 年 度	平 成 33 年 度
看 護 学 科		100 人	340 人	360 人	380 人
リハビリテーション学科		120 人	360 人	400 人	440 人

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 8 条に規定する保健医療学部看護学科及び診療放射線学科の「収容定員」は、同項の規定に関わらず、令和 3 年度から令和 5 年度までは、次表のおりとする。

学 科	定 員	収 容 定 員			
	年 度	入 学 定 員	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度
看 護 学 科		150 人	430 人	500 人	550 人
診療放射線学科		100 人	250 人	300 人	350 人

附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 8 条に規定する保健医療学部リハビリテーション学科の「収容定員」は、同項の規定に関わらず、令和 5 年度から令和 7 年度までは、次表のとおりとする。

学 科	定 員	収 容 定 員		
	年 度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
リハビリテーション学科		140 人	500 人	520 人

附 則

- この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 別表第 2 日本医療大学教育課程（第 26 条第 2 項関係）の保健医療学部看護学科「看護研究ゼミナールⅡ」については、2022 年度以前入学生にも適用する。

附 則

この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 入学定員及び収容定員  
通学課程

学部	学科	専攻	入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科		150 人	600 人
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	100 人	400 人
		作業療法学専攻	40 人	160 人
	診療放射線学科		100 人	400 人
	臨床検査学科		60 人	240 人
総合福祉学部	臨床工学科		60 人	240 人
	介護福祉マネジメント学科		40 人	160 人
ヒューマンデザ イン学部	ソーシャルワーク学科		80 人	320 人
	医療DXマネジメント学科		40 人	160 人
	共生社会デザイン学科		80 人	320 人

通信課程

学部	学科	専攻	入学定員	収容定員
通信教育部	ソーシャルワーク学科	3 年次編入	100 人	400 人
総合福祉学部			100 人	200 人

別表第2 日本医療大学 教育課程 (第26条第2項関係)

2025年度入学生

保健医療学部 看護学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	科学的思考の基礎	スタートアップ講座	1前	1		必修を含む 8単位以上
		生命科学	1前	2		
		数学	1前		1	
		環境科学	1前		1	
		生活科学	1後		1	
		統計学	1後	1		
		情報科学Ⅰ	1前	1		
		情報科学Ⅱ	1前	1		
		生活と運動	1前		1	
		健康とスポーツ	1後		1	
	人間の生活及び社会の理解	心理学	1前	1		必修を含む 7単位以上
		発達心理学	1後		1	
		倫理学	1前	1		
		生命倫理	1後		1	
		医療と哲学	2後		1	
		論理学	1前	1		
		医療と宗教	2後		1	
		人間関係の科学	1前		1	
		文化人類学	1後		1	
		医療と社会	2後		1	
		音楽	2後		1	
		法学	2前		1	
		教育学	2前		1	
		北海道史	1前		1	
	ボランティア論	2前		1		
	語学	日本語表現	1前	1		必修を含む 5単位以上
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	2前		1	
		英語Ⅳ	3前		1	
中国語		1後		1		
韓国語		2前		1		

専門基礎教育科目	健康と疾病	総合医療論	1前	1		18単位
		形態機能学Ⅰ（消化器・血液系）	1前	2		
		形態機能学Ⅱ（循環・代謝系）	1前	2		
		形態機能学Ⅲ（運動・神経系）	1前	2		
		形態機能学Ⅳ（人体解剖実習）	1後	2		
		臨床微生物学	1前	1		
		病態病理学	2前	1		
		臨床薬理学	2後	1		
		臨床栄養学	1後	1		
		疾病論Ⅰ（循環器・呼吸器系）	2前	1		
		疾病論Ⅱ（消化器・血液系）	2後	1		
		疾病論Ⅲ（運動・神経系）	2前	1		
		疾病論Ⅳ（内分泌・腎泌尿器・感覚器系）	2前	1		
		感染症概論	1後	1		
	社会と健康支援	公衆衛生学	1後	1		必修を含む 9単位以上
		保健医療統計	2前	1		
		健康教育論	3前	1		
		保健医療福祉行政論	1後	1		
		チーム医療論	3前	1		
		関係法規	2前	1		
		社会福祉学	2後		1	
		家族論	4後		1	
		コミュニケーション論	1後		1	
心の健康科学		2前		1		
リハビリテーション概論	3前		1			
専門教育科目	看護の基本	初期実習	1前	1		16単位
		看護学概論	1前	2		
		基礎看護技術論Ⅰ	1前	2		
		基礎看護技術論Ⅱ	1前	2		
		基礎看護技術論Ⅲ	1後	2		
		基礎看護技術論Ⅳ	2前	2		
		基礎看護技術論Ⅴ	2前	2		
		基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		

専門教育科目	対象の特徴と看護実践	成人看護学概論	1後	2		48単位
		成人看護援助論 I	2前	2		
		成人看護援助論 II	3前	2		
		成人看護学実習	3後	5		
		老年看護学概論	1後	2		
		老年看護援助論 I	2前	2		
		老年看護援助論 II	2後	1		
		老年看護学実習	3後	3		
		小児看護学概論	2前	2		
		小児看護援助論 I	2後	2		
		小児看護援助論 II	3前	1		
		母性・小児看護学実習	4前	4		
		母性看護学概論	2前	2		
		母性看護援助論 I	2後	2		
		母性看護援助論 II	3前	1		
		精神看護学概論	2前	2		
		精神看護援助論 I	2後	2		
		精神看護援助論 II	3前	1		
		精神看護学実習	3後	2		
		地域・在宅看護学概論	1後	2		
地域・在宅看護援助論 I	2後	2				
地域・在宅看護援助論 II	3前	2				
地域・在宅看護学実習	4前	2				
看護の統合	医療安全	2前	1		必修を含む 14単位以上	
	統合実習	4前	3			
	看護研究	3前	1			
	看護研究ゼミナール I	3通	1			
	看護研究ゼミナール II	4前	1			
	看護倫理学	4前	1			
	看護管理	3前	1			
	感染管理	3前		1		
	看護教育	4後		1		
	国際看護学	4前		1		
	災害看護学 I	1後	1			
	災害看護学 II	4後		1		
	臨床看護技術演習	3前	2			
	エンド・オブ・ライフケア	4後		1		
	看護ゼミナール	4通	1			

保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	科学的思考の基礎	スタートアップ講座	1前	1		必修を含む 10単位以上
		心理学	1前	1		
		発達心理学	1後		1	
		生物学	1前		1	
		物理学	1前		1	
		生活科学	1後		1	
		環境科学	1前		1	
		生活と運動	1後	1		
		健康とスポーツ	1後		1	
		統計学	1後	1		
		情報科学	1前	1		
		情報科学演習	1前		1	
		人間発達学	2後	2		
		人間と生活及び社会の理解	倫理学	1前	1	
	生命倫理		1後		1	
	医療と哲学		1後		1	
	論理学		1前		1	
	医療と宗教		1後		1	
	人間関係の科学		1前		1	
	文化人類学		1後		1	
	医療と社会		1後	1		
	音楽		2後		1	
	法学		1前		1	
	教育学		1前		1	
	北海道史		1前		1	
	ボランティア論	2前		1		
	語学	日本語表現	1前	1		必修を含む 4単位以上
		英語 I	1前	1		
		英語 II	1後	1		
		英語 III	2前		1	
		英語 IV	3前		1	
		中国語	1後		1	
		韓国語	2前		1	

専門基礎教育科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1前	2		20単位
		解剖学Ⅱ	1後	2		
		解剖学演習	1前	2		
		解剖学特論	2前	1		
		体表解剖学	1前	1		
		生理学Ⅰ	1前	2		
		生理学Ⅱ	1後	2		
		生理学演習	2前	1		
		生理学特論	2後	1		
		運動学Ⅰ	1後	2		
		運動学Ⅱ	2前	2		
		運動学演習	2後	1		
		運動学特論	3前	1		
		専門基礎教育科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	
栄養学	1前			1		
心の健康科学Ⅰ	2前				1	
心の健康科学Ⅱ	2後				1	
教育心理学	2前				1	
内科学	2後			2		
整形外科学	2前			2		
神経障害学	2前			2		
精神障害学	2後			1		
発達障害学	2後			1		
生体情報論	2後			1		
応急処置法	3前			1		
薬理学	1後			1		
予防医学	1後	1				
専門基礎教育科目	リハビリテーション 保健医療福祉と シシンの理	リハビリテーション論	1前	2		6単位
		チーム医療論	3前	1		
		総合医療論	1前	1		
		社会福祉学	2後	1		
		健康政策論	4後	1		
専門教育科目	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1		7単位
		理学療法概論演習	1後	1		
		理学療法セミナーⅠ	1後	1		
		理学療法セミナーⅡ	2後	1		
		理学療法セミナーⅢ	3後	1		
		理学療法研究法	3前	1		
		理学療法総合演習	4後	1		

専門教育科目	理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ	1後	1	8単位
		理学療法評価学演習Ⅰ	1後	1	
		理学療法評価学Ⅱ	2前	1	
		理学療法評価学演習Ⅱ	2前	1	
		理学療法評価学Ⅲ	2後	1	
		理学療法評価学演習Ⅲ	2後	1	
		運動器系検査法（筋力測定）	2前	1	
		臨床判断学	3前	1	
	理学療法治療学	運動療法学	2前	1	必修を含む 24単位以上
		運動療法学演習	2後	1	
		運動器障害理学療法学	3前	1	
		運動器障害理学療法学演習	3前	1	
		臨床神経機能解剖学	2後	1	
		神経障害理学療法学	3前	1	
		神経障害理学療法学演習	3前	1	
		内部障害理学療法学（循環器）	3前	1	
		内部障害理学療法学（呼吸器）	3後	1	
		代謝・免疫系障害理学療法学	3後	1	
		発達障害理学療法学	3後	1	
		高齢期障害理学療法学	3後	1	
		物理療法学	3前	1	
		物理療法学演習	3前	1	
		義肢装具学	3前	1	
		義肢装具学演習	3後	1	
		日常生活活動基礎学	3前	1	
		卒業研究Ⅰ	3通	2	
		卒業研究Ⅱ	4前	1	
		ウイメンズヘルスケア論	3前	1	
		災害リハビリテーション	3前	1	
		徒手関節治療学	3前	1	
		神経筋促通治療学	3後	1	
	軟部組織治療学	3後	1		
	高次脳機能障害学	3後	1		
	スポーツ理学療法学	3後	1		
	地域理学療法学	地域リハビリテーション学	2前	1	4単位
		地域リハビリテーション学演習	2後	1	
		地域理学療法学	3前	1	
		生活環境学	3後	1	
	臨床実習法	臨床実習Ⅰ（理学療法）	2後	2	20単位
		臨床実習Ⅱ（理学療法）	3後	4	
		臨床実習Ⅲ（理学療法）	4前	7	
		臨床実習Ⅳ（理学療法）	4前	7	
	理学療法管理学	リハビリテーション管理学	3後	2	2単位

保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	科学的思考の基礎	スタートアップ講座	1前	1		必修を含む 10単位以上
		心理学	1前	1		
		発達心理学	1後		1	
		生物学	1前		1	
		物理学	1前		1	
		生活科学	1後		1	
		環境科学	1前		1	
		生活と運動	1後	1		
		健康とスポーツ	1後		1	
		統計学	1後	1		
		情報科学	1前	1		
		情報科学演習	1前		1	
		人間発達学	2後	2		
		人間と生活及び社会の理解	倫理学	1前	1	
	生命倫理		1後		1	
	医療と哲学		1後		1	
	論理学		1前		1	
	医療と宗教		1後		1	
	人間関係の科学		1前		1	
	文化人類学		1後		1	
	医療と社会		1後	1		
	音楽		2後		1	
	法学		1前		1	
	教育学		1前		1	
	北海道史		1前		1	
	ボランティア論	2前		1		
	語学	日本語表現	1前	1		必修を含む 4単位以上
		英語 I	1前	1		
		英語 II	1後	1		
		英語 III	2前		1	
英語 IV		3前		1		
中国語		1後		1		
韓国語		2前		1		

専門基礎教育科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1前	2		20単位
		解剖学Ⅱ	1後	2		
		解剖学演習	1前	2		
		解剖学特論	2前	1		
		体表解剖学	1前	1		
		生理学Ⅰ	1前	2		
		生理学Ⅱ	1後	2		
		生理学演習	2前	1		
		生理学特論	2後	1		
		運動学Ⅰ	1後	2		
		運動学Ⅱ	2前	2		
		運動学演習	2後	1		
		運動学特論	3前	1		
		専門基礎教育科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	
栄養学	1前			1		
心の健康科学Ⅰ	2前				1	
心の健康科学Ⅱ	2後				1	
教育心理学	2前				1	
内科学	2後			2		
整形外科学	2前			2		
神経障害学	2前			2		
精神障害学	2後			1		
発達障害学	2後			1		
生体情報論	2後			1		
応急処置法	3前			1		
薬理学	1後			1		
予防医学	1後			1		
専門基礎教育科目	リハビリテーション <small>保健医療福祉と シヨンの理</small>	リハビリテーション論	1前	2		6単位
		チーム医療論	3前	1		
		総合医療論	1前	1		
		社会福祉学	2後	1		
		健康政策論	4後	1		
専門教育科目	基礎作業療法学	作業療法概論	1前	1		8単位
		基礎作業学	1前	1		
		基礎作業学演習	1後	1		
		作業療法セミナーⅠ	1後	1		
		作業療法セミナーⅡ	2後	1		
		作業療法セミナーⅢ	3後	1		
		作業療法研究法	3前	1		
		作業療法総合演習	4後	1		

専門教育科目	作業療法評価学	作業療法評価学	1後	1	6単位
		作業療法評価学演習（基礎評価・発達）	2前	1	
		作業療法評価学演習（骨・関節系）	1後	1	
		作業療法評価学演習（神経・筋力系）	2前	1	
		作業療法評価学演習（中枢神経系）	2後	1	
		作業療法評価学演習（精神・高齢期）	2後	1	
	作業療法治療学	作業療法治療学（総論）	3前	2	必修を含む 22単位以上
		身体障害作業療法学（中枢神経障害系）	3後	1	
		身体障害作業療法学（運動器障害系）	3前	1	
		身体障害作業療法学（内部障害・代謝障害系）	3後	1	
		身体障害作業療法学（ハンドセラピー）	3後	1	
		精神障害作業療法学	3前	2	
		発達障害作業療法学	3前	2	
		高齢期障害作業療法学	3前	2	
		高次脳機能障害作業療法学	3前	1	
		義肢装具作業療法学	3前	1	
		日常生活適応学（ADL）	2前	1	
		日常生活適応学（動作分析）	2後	1	
		就労支援作業療法学	3前	1	
		卒業研究Ⅰ	3通	2	
		卒業研究Ⅱ	4前	1	
		作業療法治療学特論（治療理論）	3前	1	
		作業療法治療学特論（シーティング）	3前	1	
		認知機能障害対応論（スノーブレン）	3前	1	
		軟部組織治療学	3後	1	
		ウイメンズヘルスケア論	3前	1	
	災害リハビリテーション	3前	1		
	地域作業療法学	地域リハビリテーション学	2前	1	4単位
		地域リハビリテーション学演習	2後	1	
		地域作業療法学	3前	1	
		福祉住環境論	2後	1	
	臨床作業療法	臨床実習Ⅰ（作業療法）	2後	2	27単位
地域臨床実習（作業療法）		3前	1		
臨床実習Ⅱ（作業療法）		3後	6		
臨床実習Ⅲ（作業療法）		4前	8		
臨床実習Ⅳ（作業療法）		4前	8		
臨床実習セミナーⅠ		2後	1		
作業療法管理	臨床実習セミナーⅡ	3通	1	2単位	
	リハビリテーション管理学	3後	2		

保健医療学部 診療放射線学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	人間と生活	スタートアップ講座	1前		(1)	必修を含む 7単位以上
		生命科学	1前	1		
		心理学	1前	1		
		倫理学	1前		1	
		生命倫理	1後		1	
		医療と宗教	1後		1	
		人間関係の科学	1前		1	
		文化人類学	1後		1	
		医療と社会	1後		1	
		法学	1後		1	
		教育学	1後		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア論	2前		1	
		医療コミュニケーション学	1後	1		
	科学的思考の基礎	物理学	1前	2		必修を含む 10単位以上
		化学	1前	1		
		生物学	1前	1		
		生活と運動	1前		1	
		健康とスポーツ	2前		1	
		数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2		
		数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後	1		
		数学Ⅲ(統計学)	1後		1	
		情報科学	1前	1		
	情報科学演習	1後		1		
	語学	日本語表現	1前		1	必修を含む 3単位以上
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後		1	
		韓国語	2前		1	
		中国語	1後		1	

専門基礎教育科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1		必修を含む 15単位以上
		系統解剖学	1前	2		
		系統解剖学演習	1後		1	
		臨床解剖学	1後	2		
		臨床解剖学演習	2前		1	
		生理学	2前		1	
		病態生理学	2後	1		
		病理学	2前	1		
		生化学	2前	1		
		臨床薬理学Ⅰ	3前	1		
		臨床薬理学Ⅱ	3前		1	
		衛生学	1後	1		
		公衆衛生学	4前	1		
		臨床医学概論	2後	1		
	臨床医学演習	3前		1		
	保健医療福祉における理工学的基礎 並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	2		必修を含む 19単位以上
		放射線生物学	1後	2		
		放射線生物学演習	2前		1	
		放射線物理学	1後	2		
		放射線物理学演習	2前		1	
		放射線・物理学実験	1後	1		
		放射化学	1後	2		
		放射化学演習	2前		1	
		医用工学	1後	2		
		医用工学演習	4前		1	
		放射線計測学	2前	2		
		放射線計測学演習	4前	1		
	診療画像検査学概論	1後	2			
	医療専門職の 機能と役割	基礎看護学	2前	1		必修を含む 5単位以上
		チーム医療論	2後	1		
		医療経済学	2前		1	
		心の健康科学Ⅰ	2前		1	
		放射線カウンセリング学	2後		1	
医療職としての責任と役割		4前	1			

専門教育科目	診療画像技術学・画像診断学	診療画像技術学Ⅰ（一般撮影）	2前	2		必修を含む 22単位以上  ※1
		診療画像技術学Ⅱ（造影検査）	2後	2		
		X線CT検査学	2前	1		
		MRⅠ検査学	2後	2		
		超音波検査学	3前	2		
		診療画像技術学演習	4前		1	
		放射線技術学実習Ⅰ	2前	1		
		放射線技術学実習Ⅱ	2後	1		
		放射線技術学実習Ⅲ	3後	1		
		診療画像機器学	2前	2		
		診療画像機器学演習	4前		1	
		画像解剖学Ⅰ（X線画像）	2後	2		
		画像解剖学Ⅱ（MRⅠ・超音波）	3前	2		
		画像解剖学Ⅲ（演習）	3後		1	
		実践臨床画像学	3通	2		
	画像診断学	3後	2			
	画像診断学演習	4後		1		
	核医学検査技術学	放射性医薬品学	2後	1		必修を含む 6単位以上
		核医学検査技術学概論	3前	1		
		核医学検査機器学	3前	2		
		核医学検査技術学	3後	2		
		核医学検査技術学演習	4後		1	
	放射線治療学	放射線治療技術学概論	2後	2		必修を含む 7単位以上
		放射線治療技術学	3前	2		
		放射線治療計測学	4前	1		
		放射線治療機器学	3後	2		
		放射線治療技術学演習	4後		1	
医療画像情報学	医療画像処理学	2後	1		必修を含む 6単位以上	
	医療画像工学	3前	2			
	医療画像情報学	3後	2			
	医療画像情報学演習	4後		1		
	医療情報管理学	4前	1			
放射線安全管理学	放射線安全管理学	3後	2		4単位	
	医療機器安全管理学	3前	1			
	関係法規	4前	1			
医療安全管理学	医療安全管理学	3後	1		2単位	
	応急処置法（演習）	4前	1			
臨床実習	早期臨床実習	2通	1		12単位	
	臨床実習Ⅰ	3通	5			
	臨床実習Ⅱ	4通	6			
総合科目	放射線技術学特別講義	4前		1	必修を含む 2単位以上 ※1	
	総合演習Ⅰ（専門基礎領域）	4後	1			
	総合演習Ⅱ（臨床領域）	4後	1			
研究卒業	診療放射線学コロキウム	3後	1		必修を含む 1単位以上	
	卒業研究	4通		2		
※1 科目区分の診療画像技術学・画像診断学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医療画像情報学、総合科目、卒業研究の全ての選択科目の中から7単位以上を修得						
※2 単位欄の（ ）は自由選択科目であり、卒業単位には含まない。						

保健医療学部 臨床検査学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	人間と生活	生命科学	1後	1		必修を含む 9単位以上
		心理学	1前	1		
		コミュニケーション学	1前	1		
		倫理学	1前		1	
		生命倫理	1後		1	
		医療と哲学	1後		1	
		人間関係の科学	1前		1	
		文化人類学	1後		1	
		医療と社会	1後		1	
		法学	1前		1	
		教育学	1前		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア論	2前		1	
	科学的思考の基礎	スタートアップ講座	1前	1		必修を含む 7単位以上
		物理学	1前		1	
		化学	1前	1		
		生物学	1後	1		
		生活と運動	1後		1	
		健康とスポーツ	1前		1	
		数学	1前	1		
	数学（統計学）	1後	1			
	語学	日本語表現	1前		1	必修を含む 5単位以上
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	2後	1		
		中国語	1後		1	
		韓国語	2前		1	
専門基礎教育科目	人体の構造と機能	解剖学	1前	1		必修8単位
		解剖学演習	1前	1		
		組織細胞学	1後	1		
		組織細胞学実習	1後	1		
		生理学Ⅰ	1前	1		
		生理学Ⅱ	1前	1		
		生化学Ⅰ	1前	1		
		生化学Ⅱ	1後	1		

専門基礎教育科目	医学検査との基礎と その疾病との関連	病理学	1後	1	必修6単位
		免疫学	1前	1	
		臨床栄養概論	3前	1	
		臨床薬理概論	2後	1	
		臨床病棟検査概論	3後	1	
		臨床検査入門	1前	1	
	保健医療福祉と 医学検査	保健医療福祉概論	1前	1	必修5単位
		公衆衛生学	2前	1	
		救命救急検査概論	3後	1	
		地域医療連携学	3前	1	
		チーム医療論	3前	1	
	医療工学及び 情報科学	情報科学	1前	1	必修4単位
		情報科学演習	1前	1	
		医用工学Ⅰ	3前	1	
		医用工学Ⅱ	3後	1	
専門教育科目	臨床病態学	臨床検査医学総論Ⅰ	1後	1	必修15単位
		臨床検査医学総論Ⅱ	2前	1	
		症例細胞診検査学	3後	1	
		症例血液・染色体検査学	3後	1	
		症例微生物・感染制御学	3後	1	
		症例臨床化学・免疫検査学	3後	1	
		症例輸血検査学	3後	1	
		症例生理機能検査学	3後	1	
		臨床検査総論演習	4通	7	
	形態検査学	病理検査学	2前	1	必修10単位
		細胞検査学	3前	1	
		病理検査学実習	2後	1	
		細胞検査学実習	3前	1	
		臨床血液学Ⅰ	2前	1	
		臨床血液学Ⅱ	2後	1	
臨床血液学実習Ⅰ		2後	1		
臨床血液学実習Ⅱ		3前	1		
病理検査学総合演習		3後	1		
血液検査学総合演習		4前	1		

専門教育科目	生物化学分析検査学	一般検査学	1後	1	必修11単位
		一般検査学実習	2前	1	
		臨床化学Ⅰ	1後	1	
		臨床化学Ⅱ	2前	2	
		臨床化学実習Ⅰ	2前	1	
		臨床化学実習Ⅱ	2後	1	
		遺伝子・染色体検査学	3前	1	
		遺伝子検査学実習	3後	1	
		一般検査学総合演習	3後	1	
		分析検査学総合演習	3後	1	
	病因・生体防御検査学	微生物学	2前	1	必修15単位
		臨床微生物学Ⅰ	2後	1	
		臨床微生物学Ⅱ	2後	1	
		臨床微生物学Ⅲ	3前	1	
		臨床微生物学実習Ⅰ	2後	1	
		臨床微生物学実習Ⅱ	3前	2	
		臨床免疫学	1後	1	
		臨床免疫学実習	2後	1	
		輸血・移植検査学Ⅰ	2前	1	
		輸血・移植検査学Ⅱ	2後	1	
		輸血・移植検査学Ⅲ	3前	1	
		輸血検査学実習	3後	1	
		微生物検査学総合演習	4前	1	
		免疫検査学総合演習	4前	1	
	生理機能検査学	臨床生理学Ⅰ	2前	2	必修11単位
		臨床生理学Ⅱ	2前	1	
		臨床生理学Ⅲ	2後	1	
		臨床生理学Ⅳ	3前	1	
		臨床生理学Ⅴ	3後	1	
		臨床生理学実習Ⅰ	2後	2	
		臨床生理学実習Ⅱ	3前	2	
	生理機能検査学総合演習	4前	1		
	検査総合管理学	検査機器総論演習	1通	1	必修7単位
専門検査技師総論		3後	1		
臨床検査管理学Ⅰ		2後	1		
臨床検査管理学Ⅱ		3前	1		
臨床検査マネジメント論		3後	1		
関係法規		3後	1		
臨地実習前総合実習	4前	1			
医療安全管理学	感染管理学	3後	1	必修3単位	
	医療安全管理学	2前	1		
	医療安全管理学実習	2前	1		
臨地実習	臨地実習	4通	11	必修11単位	
卒業研究	卒業研究	4通	4	必修4単位	

保健医療学部 臨床工学科

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎 教育科目	人間と生活及び社会の理解	心理学	1前	1		必修を含む 7単位以上
		生命科学	1後	1		
		コミュニケーション学	1後	1		
		倫理学	1前		1	
		生命倫理	1後		1	
		医療と哲学	1後		1	
		人間関係の科学	1前		1	
		文化人類学	1後		1	
		医療と社会	1後		1	
		法学	1前		1	
		教育学	1前		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア論	2前		1	
	科学的思考の基盤	物理学(基礎)	1前	1		必修を含む 6単位以上
		物理学(応用)	1後		1	
		化学	1前		1	
		生物学	1後		1	
		生活と運動	1前	1		
		健康とスポーツ	1前		1	
		数学	1前	1		
		数学(統計学)	1後	1		
	語学	日本語表現	1前		1	必修を含む 5単位以上
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	3前		1	
		医療英語	2後	1		
		中国語	1後		1	
専門基礎教育科目	人体の機能構造	解剖生理学Ⅰ	1前	2		7単位
		解剖生理学Ⅱ	1前	2		
		解剖生理学演習	1後	1		
		分子医化学	1後	2		
	臨床工学に必要な医学的基礎	医療総論	1前	1		13単位
		臨床工学総論	1後	1		
		病理学	2前	2		
		分子病態生理学	3前	1		
		生体防御学	1後	1		
		微生物学	2後	2		
		臨床薬理概論	3前	1		
		公衆衛生学	2後	2		
		医療コミュニケーション論	4前	1		
		チーム医療	4後	1		

専門基礎教育科目	臨床工学に必要な 理工学的基礎	応用数学	1前	1		必修を含む 22単位以上
		機械工学Ⅰ	2前	2		
		機械工学Ⅱ	2後		2	
		電気工学Ⅰ	1前	2		
		電気工学Ⅱ	1後	2		
		電子工学Ⅰ	2前	2		
		電子工学Ⅱ	2後		2	
		材料工学	2前	2		
		物性工学	1後		2	
		計測工学	1後	2		
		電気工学実習	1後	1		
		電子工学実習	2前	1		
		基礎工学演習Ⅰ	1前	1		
		基礎工学演習Ⅱ	3前	1		
	基礎工学演習Ⅲ	4後	2			
	臨床工学応用演習	4通	1			
	臨床工学に必要な システム工学と基礎	情報処理Ⅰ	1前	2		必修を含む 8単位以上
		情報処理Ⅱ	1後		2	
		システム工学	2前	2		
医療情報学		1後		2		
プロジェクトスキルⅠ		2後	1			
プロジェクトスキルⅡ		3後	1			
専門教育科目	医用生体工学	医用工学概論	1後	2		8単位
		医用機器学概論Ⅰ	1後	2		
		医用機器学概論Ⅱ	2後	2		
		医用工学演習Ⅰ	2前	1		
		医用工学演習Ⅱ	4後	1		
	医用機器学及び臨床支援技術	医用治療機器学	2前	2		必修を含む 19単位以上
		医用治療機器学演習	4後	1		
		医用治療機器学実習	3前	1		
		生体計測装置学	2前	4		
		生体計測装置学演習	4後	1		
		生体計測装置学実習	3前	1		
		循環器治療機器学Ⅰ	2後	1		
		循環器治療機器学Ⅱ	3後	2		
		消化器治療機器学	2後	1		
		臨床機器学各論Ⅰ	3後		1	
		臨床機器学各論Ⅱ	3後		1	
		臨床機器学各論Ⅲ	3後		1	
		臨床機器学各論Ⅳ	3後		1	
		臨床支援技術学基礎演習	1前	1		
臨床支援技術学	3前	2				
臨床支援技術学実習	4前	1				

専門教育科目	生体機能代行技術学	生体機能代行装置学Ⅰ	2前	4		必修を含む 18単位以上
		生体機能代行装置学Ⅱ	3後	2		
		生体機能代行装置学Ⅲ	4前	2		
		血液透析療法装置学Ⅰ	3前	2		
		血液透析療法装置学Ⅱ	4前	2		
		血液浄化療法装置学	3後		1	
		呼吸療法装置学	3後		1	
		体外循環療法装置学	3後		1	
		生体機能代行装置学演習Ⅰ	2後	1		
		生体機能代行装置学演習Ⅱ	3通	1		
		生体機能代行装置学実習Ⅰ	2後	1		
		生体機能代行装置学実習Ⅱ	3後	2		
	理学 医用安全管理	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2		7単位
		医用機器安全管理学Ⅱ	3前	2		
		医用機器安全管理学実習	3後	1		
		医療安全管理学	4通	2		
	関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ	2後	1		7単位
		臨床医学総論Ⅱ	3前	1		
		臨床医学総論Ⅲ	3前	1		
		臨床医学総論Ⅳ	3後	1		
		臨床医学総論Ⅴ	3後	1		
		臨床医学演習	4通	2		
	臨床実習	臨床実習	4前	7		7単位
	卒業研究	卒業研究	4通	4		4単位

総合福祉学部 介護福祉マネジメント学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	人間と文化	人間関係とコミュニケーションⅠ	1前		2	8単位以上
		人間関係とコミュニケーションⅡ	1後		2	
		人間の尊厳と自立	2前		2	
		倫理学	1前		2	
		文化人類学	2後		2	
		教育学	2前		2	
		文学	2後		1	
		北海道史	1後		1	
		心理学と心理的支援	1前		2	
		発達心理学	1後		2	
		ボランティア活動	1後		1	
	人間と社会	法学入門	1後	1		必修を含む 10単位以上
		政治学入門	2前		1	
		経済学入門	1後		1	
		経営学入門	1前	1		
		行政法	2前		2	
		マーケティング入門	1後	2		
		統計学	1前		2	
		情報科学	1後		2	
		会計学入門	1前	2		
		簿記入門	1後		2	
		社会学と社会システム	2前		2	
	家族社会学	3前		2		
	健康科学	生活科学	1後		1	必修を含む 2単位以上
		環境科学	1後		1	
		健康とスポーツⅠ	1前	2		
		健康とスポーツⅡ	2前		2	
	語学	日本語表現	1前	2		必修を含む 4単位以上
		英語Ⅰ(基礎)	1後	2		
		英語Ⅱ(実践基礎)	2前		2	
		英語Ⅲ(実践応用)	2後		2	
		中国語	2前		2	
		韓国語	1後		2	
専門基礎教育科目	社会福祉の基礎	医療福祉とマネジメント	1前	2		必修を含む 40単位以上
		社会福祉の原理と政策Ⅰ	1前		2	
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	1後		2	
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前		2	
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2後		2	
		薬理学	2前		1	
		社会の理解Ⅰ	2前		2	
		社会の理解Ⅱ	2後		2	
		社会保障Ⅰ	2前		2	
		社会保障Ⅱ	2後		2	
		保健医療と福祉	2後		2	

専門基礎教育科目	社会福祉の基礎	医学概論	1後	2	
		国際医療福祉論	3後		2
		公衆衛生学	2後		2
		認知症の理解 I	2後		2
		認知症の理解 II	3前		2
		障害の理解 I	3前		2
		障害の理解 II	3後		2
		コミュニケーション技術 I	1後		1
		コミュニケーション技術 II	2前		1
		医療ソーシャルワーク論	3前		2
		ケアマネジメント論	3後		2
		リーダー論	4前		2
		リハビリテーション論	2前		2
		I C F の理解	2前		1
	福祉用具と福祉機器	4前		1	
	経営の基礎	医療のしくみ	1前		2
		地域医療連携とチーム医療	3前		2
		地域活性化と地域医療	3前	2	
		統計解析	2前		2
		会計学 I	2前		2
		簿記	2前		2
		経営戦略	2後		1
		経営分析論	3前		2
		福祉サービスの組織と経営	3後	2	
介護施設経営	4前	2			
専門教育科目	マネジメント理論	医療経済学	3前		2
		医療流通システム論	3前		2
		医療マーケティング	3後		2
		原価計算	2後		2
		会計学 II	2後		2
		監査論	3前		2
		医療経営戦略	4前		1
		組織心理学	4前		2
		経営管理論	4後		2
		人的資源管理論	4前		2
		企業法務	4後		2
	医療管理と実務	医療管理総論	2後		2
		医療管理各論 I	3前		2
		医療管理各論 II	4前		2
		医療管理各論 III	4後		2
		医療関連法規	4前		2
		医療安全・臨床倫理	3後		2
		秘書学	3前		2
		文書作成技術	3後		2
		診療報酬請求事務 I	3前		2
		診療報酬請求事務 II	3後		2

必修を含む  
60単位以上

専門教育科目	介護福祉社	発達と老化の理解Ⅰ	3前		2
		発達と老化の理解Ⅱ	3後		2
		こころとからだのしくみⅠ	2前		4
		こころとからだのしくみⅡ	2後		4
		介護の基本Ⅰ	1後		4
		介護の基本Ⅱ	2後		4
		介護の基本Ⅲ	3後		4
		介護過程Ⅰ	1後		2
		介護過程Ⅱ	2前		2
		介護過程Ⅲ	3前		1
		生活支援技術ⅠA	1前		2
		生活支援技術ⅠB	1後		2
		生活支援技術ⅡA	2前		4
		生活支援技術ⅡB	2後		2
		生活支援技術ⅢA	3前		2
		生活支援技術ⅢB	3後		4
		介護総合演習ⅠA	1後		1
		介護総合演習ⅠB	3後		1
		介護総合演習ⅡA	2前		1
		介護総合演習ⅡB	2後		1
		介護実習Ⅰ型基礎	2前		1
		介護実習Ⅰ型応用	4前		1
		介護実習Ⅱ型基礎	2後		3
		介護実習Ⅱ型応用	3前		5
		医療的ケアⅠ	4前		4
		医療的ケアⅡ	4後		2
	医療的ケアⅢ	4後		1	
	認知症ケア論	4前		2	
	介護報酬請求事務	4前		2	
	地域マネジメント	事業構想論	3後		2
		持続可能社会と地域医療福祉経営	4後	2	
		サービス産業論	4前		2
		地域連携実践	3前		2
		ソーシャル・ビジネス	4後		2
総合科目	基礎演習	1通	2		
	専門演習Ⅰ	3通	2		
	専門演習Ⅱ	4通	2		
	卒業研究	4通		4	

総合福祉学部 ソーシャルワーク学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	人間と文化	人間関係とコミュニケーションⅠ	1前		2	必修を含む 10単位以上
		人間関係とコミュニケーションⅡ	1後		2	
		人間の尊厳と自立	2前		2	
		倫理学	1前		2	
		文化人類学	2後		2	
		教育学	2前		2	
		文学	2後		1	
		北海道史	1後	1		
		心理学と心理的支援	1前	2		
		発達心理学	1後		2	
		ボランティア活動	1後		1	
	人間と社会	法学入門	1後	1		必修を含む 8単位以上
		政治学入門	2前		1	
		経済学入門	1後		1	
		経営学入門	1前		1	
		行政法	2前		2	
		マーケティング入門	1後		2	
		統計学	1前		2	
		情報科学	1後		2	
		会計学入門	1前		2	
		簿記入門	1後		2	
		社会学と社会システム	2前	2		
	家族社会学	3前		2		
	健康科学	生活科学	1後		1	必修を含む 2単位以上
		環境科学	1後		1	
		健康とスポーツⅠ	1前	2		
		健康とスポーツⅡ	2前		2	
	語学	日本語表現	1前	2		必修を含む 4単位以上
		英語Ⅰ(基礎)	1後	2		
		英語Ⅱ(実践基礎)	2前		2	
		英語Ⅲ(実践応用)	2後		2	
		中国語	2前		2	
		韓国語	1後		2	
専門基礎教育科目	社会福祉の基礎	医療福祉とマネジメント	1前	2		必修を含む 46単位以上
		社会福祉の原理と政策Ⅰ	1前	2		
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	1後	2		
		ソーシャルワークの原理	1後	2		
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前	2		
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2後	2		
		社会保障Ⅰ	2前	2		
		社会保障Ⅱ	2後	2		
		貧困に対する支援	3前		2	
		高齢者福祉	1後		2	
		障害者福祉	1前		2	
		児童・家庭福祉	2後		2	

専門基礎教育科目	社会福祉の基礎	権利擁護を支える法制度	3前	2		
		刑事司法と福祉	4前		2	
		保健医療と福祉	2後	2		
		医学概論	1後	2		
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1前	2		
		社会福祉調査の基礎	2前		2	
		国際医療福祉論	3後		2	
		公衆衛生学	2後		2	
		カウンセリング	2後		2	
		医療ソーシャルワーク論	3前		2	
		ケアマネジメント論	3後		2	
		リーダー論	4前		2	
		リハビリテーション論	2前	2		
		I C F の理解	2前	1		
		福祉用具と福祉機器	4前		1	
経営の基礎	地域医療連携とチーム医療	3前		2	必修を含む 6単位以上	
	地域活性化と地域医療	3前		2		
	福祉サービスの組織と経営	3後	2			
	介護施設経営	4前	2			
専門教育科目	ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	4前		2	必修を含む 48単位以上
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1後	2		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2前	2		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2後		2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3前		2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅴ	3後		2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅵ	4前		2	
		精神医学と精神医療Ⅰ	3前	2		
		精神医学と精神医療Ⅱ	3後	2		
		現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	1後		2	
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2前		2	
		精神保健福祉の原理Ⅰ	2前		2	
		精神保健福祉の原理Ⅱ	2後		2	
		精神保健福祉制度論	3後		2	
		精神障害リハビリテーション論	4前		2	
医療的ケア	4後		2			
終末期ケアとソーシャルワーク	4前		2			
認知症ケア論	4前		2			

専門教育科目	管理運営の実践	経営管理論	3後		2
		人的資源管理論	3前		2
		医療管理総論	2後		2
		医療安全・臨床倫理	3後		2
		持続可能社会と地域医療福祉経営	3後		2
		地域連携実践	3前		2
		ソーシャル・ビジネス	3後		2
専門教育科目	ソーシャルワーク演習・実習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前	1	
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後	2	
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前	1	
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前		1
		ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神)	3前		1
		ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神)	3後		1
		ソーシャルワーク演習Ⅶ(精神)	4前		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通		2
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	3後		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅳ(精神)	4通		2
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	3通		6
		ソーシャルワーク実習Ⅱ(精神)	4通		5
	総合科目	基礎演習	1通	2	
		専門演習Ⅰ	3通	2	
		専門演習Ⅱ	4通	2	
		卒業研究	4通		4

ヒューマンデザイン学部 医療DXマネジメント学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	人間と文化	人間の尊厳と自立	2 前		2	必修科目29単位、基礎教育科目の選択科目から12単位以上、専門基礎教育科目の選択科目から30単位以上、専門教育科目の選択科目から52単位以上
		倫理学	1 前		2	
		文化人類学	2 後		2	
		教育学	2 前		2	
		文学	2 後		1	
		北海道史	1 後		1	
		心理学と心理的支援	1 前		2	
		発達心理学	1 後		2	
		ボランティア活動	1 後		1	
	人間と社会	法学入門	1 後	2		
		政治学入門	2 前		1	
		経済学入門	1 後		1	
		経営学入門	1 前	1		
		行政法	2 前		2	
		マーケティング入門	1 後	1		
		統計学	1 前		2	
		会計学入門	1 前	2		
		簿記入門	1 後		2	
		社会学と社会システム	2 前		2	
	家族社会学	3 前		2		
	健康科学	生活科学	1 後		1	
		健康とスポーツ I	1 前	1		
		健康とスポーツ II	2 前		1	
	語学	日本語表現	1 前	2		
		英語 I (基礎)	1 後	2		
		英語 II (実践基礎)	2 前		2	
		英語 III (実践応用)	2 後		2	
		中国語	2 前		2	
		韓国語	1 後		2	
	専門基礎教育科目	社会福祉と情報の基礎	ヒューマンデザイン論	1 前	2	
社会福祉の原理と政策 I			1 前		2	
社会福祉の原理と政策 II			1 後		2	
地域福祉と包括的支援体制 I			2 前		2	
地域福祉と包括的支援体制 II			2 後		2	
薬理学			2 前		1	
社会保障 I			2 前		2	
社会保障 II			2 後		2	
権利擁護を支える法制度			3 前		2	
保健医療と福祉			2 後		2	
医学概論			1 後	2		
公衆衛生学			2 後		2	
医療ソーシャルワーク論			3 前		2	
ケアマネジメント論	3 後		2			

専門 教育 科目		リーダー論	4 前		2	
		リハビリテーション論	2 前		2	
		ICF の理解	2 前		1	
		福祉用具と福祉機器	4 前		1	
		データサイエンス	1 後		2	
		情報リテラシー	1 前		2	
		医療情報概論	1 後		2	
		コンピュータシステム	1 前		2	
	マネジメントの基礎	医療のしくみ	1 前	2		
		地域医療連携とチーム医療	3 前			2
		地域活性化と地域医療	3 前	2		
		統計解析	2 前			2
		会計学 I	2 前			2
		簿記応用	2 前			2
		経営戦略	2 後			2
		経営分析論	3 前			2
	マネジメント理論	医療経済学	3 前			1
		医療流通システム論	2 前			2
		医療マーケティング	2 後			2
		原価計算	2 後			2
		会計学 II	2 後			2
		監査論	3 前			2
		医療経営戦略	4 前			2
		組織心理学	4 前			2
		経営管理論	3 前			2
		人的資源管理論	3 後			2
		企業法務	4 後			2
	医療管理と実務	医療管理総論	2 前			2
医療安全・臨床倫理		3 後			1	
医療管理各論 I		2 後			2	
医療管理各論 II		2 後			1	
医療管理各論 III		3 前			2	
医療関連法規		4 前			2	
診療報酬請求事務 I		3 前			2	
診療報酬請求事務 II		3 後			2	
こころとからだのしくみ		2 前			2	
認知症ケア論	4 前			2		
医療情報マネジメント	医療 DX ワークショップ A	1 前			1	
	医療 DX ワークショップ B	1 後			1	
	医療 DX ワークショップ C	2 前			1	
	医療情報システム論	2 前			2	
	データベース基礎	2 前			2	
	データベース応用	2 後			2	
	データ構造とアルゴリズム	3 前			2	
	通信ネットワーク	2 後			2	
情報セキュリティ	3 後			2		

	臨床データ分析Ⅰ	2 後		2
	臨床データ分析Ⅱ	4 前		2
	画像情報処理	3 後		2
	プログラミング演習Ⅰ	2 前		2
	プログラミング演習Ⅱ	2 後		2
	AI 基礎	3 前		2
	ユニバーサルデザイン概論	1 後		2
	ユニバーサルデザイン演習	3 通		4
	プロジェクトマネジメント	4 前		2
地域 マネ ジメ ント	事業構想論	1 後		1
	持続可能社会と地域医療福祉経営	3 後	2	
	サービス産業論	2 前		1
	地域連携実践	2 後	2	
	ソーシャル・ビジネス	1 後		2
総合 科目	基礎演習	1 通	2	
	専門演習Ⅰ	3 通	2	
	専門演習Ⅱ	4 通	2	
	卒業研究	4 通		4

ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	人間と文化	人間の尊厳と自立	2 前		2	必修科目61単 位、基礎教育科 目の選択科目か ら12単位以上、 専門基礎教育科 目の選択科目か ら21単位以上、 専門教育科目の 選択科目から30 単位以上
		倫理学	1 前		2	
		文化人類学	2 後		2	
		教育学	2 前		2	
		文学	2 後		1	
		北海道史	1 後	1		
		心理学と心理的支援	1 前	2		
		発達心理学	1 後	2		
		ボランティア活動	1 後	1		
		健康・医療心理学	4 後		2	
		福祉心理学	4 前		2	
		教育・学校心理学	4 前		2	
	人間と社会	法学入門	1 後	2		
		政治学入門	2 前		1	
		経済学入門	1 後		1	
		経営学入門	1 前		1	
		行政法	2 前		2	
		マーケティング入門	1 後		2	
		統計学	1 前		2	
		会計学入門	1 前		2	
		簿記入門	1 後		2	
		社会学と社会システム	2 前	2		
	家族社会学	3 前		2		
	健康科学	生活科学	1 後		1	
		健康とスポーツⅠ	1 前	1		
		健康とスポーツⅡ	2 前		1	
	語学	日本語表現	1 前	2		
		英語Ⅰ(基礎)	1 後	2		
		英語Ⅱ(実践基礎)	2 前		2	
		英語Ⅲ(実践応用)	2 後		2	
中国語		2 前		2		
韓国語		1 後		2		
専門基礎教育科目	社会福祉の基礎	ヒューマンデザイン論	1 前	2		
		共生社会デザイン論	1 後	2		
		社会福祉の原理と政策Ⅰ	1 前	2		
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	1 後	2		
		ソーシャルワークの原理	1 後	2		
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2 前	2		
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2 後	2		
		社会保障Ⅰ	2 前	2		
		社会保障Ⅱ	2 後	2		
		貧困に対する支援	3 前		2	
		高齢者福祉	1 後		2	

		障害者福祉	1 前		2	
		児童・家庭福祉	2 後		2	
		権利擁護を支える法制度	3 前	2		
		刑事司法と福祉	4 前			2
		保健医療と福祉	2 後	2		
		医学概論	1 後	2		
		人体の構造と機能及び疾病	2 前			2
		ソーシャルワークの基盤と専門職 I	1 前	2		
		社会福祉調査の基礎	2 前			2
		国際医療福祉論	3 後			2
		公衆衛生学	2 後			2
		公認心理師の職責	2 前			2
		臨床心理学概論	2 後			2
		心理学研究法	3 前			2
		心理学統計法	3 後			2
		心理学実験	3 前			2
		心理的アセスメント	4 前			2
		心理学的支援法	3 後			2
		カウンセリング	2 後			2
		医療ソーシャルワーク論	3 前			2
		ケアマネジメント論	3 後			2
		リーダー論	4 前			2
		リハビリテーション論	2 前	2		
	ICF の理解	2 前	1			
	福祉用具と福祉機器	4 前			1	
	医療DX・福祉経営の基礎	医療情報概論	1 前			2
		医療情報システム論	1 後			2
		情報リテラシー	1 前	2		
		地域医療連携とチーム医療	3 前			2
		地域活性化と地域医療	3 前			2
		福祉サービスの組織と経営	3 後	2		
		介護施設経営	4 前	2		
	ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの基盤と専門職II	4 前			2
		ソーシャルワークの理論と方法 I	1 後	2		
ソーシャルワークの理論と方法 II		2 前	2			
ソーシャルワークの理論と方法III		2 後			2	
ソーシャルワークの理論と方法IV		3 前			2	
ソーシャルワークの理論と方法V		3 後			2	
ソーシャルワークの理論と方法VI		4 前			2	
精神医学と精神医療 I		3 前			2	
精神医学と精神医療 II		3 後			2	
現代の精神保健の課題と支援 I		1 後			2	
現代の精神保健の課題と支援 II		2 前			2	
精神保健福祉の原理 I		2 前			2	
精神保健福祉の原理 II		2 後			2	
精神保健福祉制度論		3 後			2	

	精神障害リハビリテーション論	4 前		2
	スクールソーシャルワーク論	3 前		2
	知覚・認知心理学	3 後		2
	学習・言語心理学	3 前		2
	感情・人格心理学	4 前		2
	神経・生理心理学	4 前		2
	社会・集団・家族心理学	3 前		2
	障害者（児）心理学	3 後		2
	司法・犯罪心理学	4 前		2
	産業・組織心理学	4 後		2
	関係行政論(心理)	4 前		2
	医療的ケア	4 後		2
	終末期ケアとソーシャルワーク	4 前		2
	認知症ケア論	4 前		2
医療DX・福祉管理運営の実践	医療DXワークショップA	1 前		1
	医療DXワークショップB	1 後		1
	医療DXワークショップC	2 前		1
	経営管理論	3 前		2
	人的資源管理論	3 後		2
	医療管理総論	2 前		2
	医療安全・臨床倫理	3 後		1
	持続可能社会と地域医療福祉経営	3 後		2
	地域連携実践	2 後		2
	ソーシャル・ビジネス	1 後		2
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2 前	1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2 後		2
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 前		1
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4 後		1
	ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神)	3 前		1
	ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神)	3 後		1
	ソーシャルワーク演習Ⅶ(精神)	4 前		1
	スクールソーシャルワーク演習	3 後		1
	心理演習	4 前		2
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2 後		1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3 通		2
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	3 後		1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ(精神)	4 通		2
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3 通		6
	ソーシャルワーク実習Ⅱ(精神)	4 通		5
	スクールソーシャルワーク実習指導	4 前		1
	スクールソーシャルワーク実習	4 後		3
	心理実習	4 後		2
総合科目	基礎演習	1 通	2	
	専門演習Ⅰ	3 通	2	
	専門演習Ⅱ	4 通	2	
	卒業研究	4 通		4

別表第3 卒業要件  
保健医療学部  
看護学科

必修科目	113 単位
選択科目	12 単位以上
小 計	125 単位以上

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

必修科目	114 単位
選択科目	13 単位以上
小 計	127 単位以上

リハビリテーション学科 作業療法学専攻

必修科目	120 単位
選択科目	11 単位以上
小 計	131 単位以上

診療放射線学科

必修科目	105 単位
選択科目	23 単位以上
小 計	128 単位以上

臨床検査学科

必修科目	121 単位
選択科目	10 単位以上
小 計	131 単位以上

臨床工学科

必修科目	124 単位
選択科目	14 単位以上
小 計	138 単位以上

総合福祉学部  
介護福祉マネジメント学科

必修科目	30 単位
選択科目	94 単位以上
小 計	124 単位以上

ソーシャルワーク学科

必修科目	61 単位
選択科目	63 単位以上
小 計	124 単位以上

ヒューマンデザイン学部  
医療DXマネジメント学科

必修科目	29 単位
選択科目	95 単位以上
小 計	124 単位以上

共生社会デザイン学科

必修科目	61 単位
選択科目	63 単位以上
小 計	124 単位以上

通信教育部 総合福祉学部 ソーシャルワーク学科

必修科目	54単位
選択科目（基礎教育科目）	15単位以上
選択科目（専門基礎教育科目）	21単位以上
選択科目（専門教育科目）	34単位以上
小計	124単位以上

別表第4 日本医療大学 入学検定料、入学金及び授業料等(第36条関係)

保健医療学部 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科、臨床検査学科及び臨床工学科

納付区分 費用	入学検定料	入 学 金	授 業 料	施 設 費	合 計
出 願 時	30,000	-	-	-	30,000
入学手続時	-	300,000	-	-	300,000
前 期	-	-	750,000	50,000	800,000
後 期	-	-	750,000	50,000	800,000
年 額	-	-	1,500,000	100,000	1,600,000

注 休学する者は、在籍料を納入するものとする。休学時の授業料等及び在籍料の取扱は別に定める。

総合福祉学部 介護福祉マネジメント学科、ソーシャルワーク学科

納付区分 費用	入学検定料	入 学 金	授 業 料	施 設 費	合 計
出 願 時	30,000	-	-	-	30,000
入学手続時	-	300,000	-	-	300,000
前 期	-	-	500,000	-	500,000
後 期	-	-	500,000	-	500,000
年 額	-	-	1,000,000	-	1,000,000

注 休学する者は、在籍料を納入するものとする。休学時の授業料等及び在籍料の取扱は別に定める。

ヒューマンデザイン学部 医療DXマネジメント学科

納付区分 費用	入学検定料	入 学 金	授 業 料	施 設 費	合 計
出 願 時	30,000	-	-	-	30,000
入学手続時	-	300,000	-	-	300,000
前 期	-	-	600,000	50,000	650,000
後 期	-	-	600,000	50,000	650,000
年 額	-	-	1,200,000	100,000	1,300,000

注 休学する者は、在籍料を納入するものとする。休学時の授業料等及び在籍料の取扱は別に定める。

ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科

納付区分 費用	入学検定料	入 学 金	授 業 料	施 設 費	合 計
出 願 時	30,000	-	-	-	30,000
入学手続時	-	300,000	-	-	300,000
前 期	-	-	400,000	50,000	450,000
後 期	-	-	400,000	50,000	450,000
年 額	-	-	800,000	100,000	900,000

注 休学する者は、在籍料を納入するものとする。休学時の授業料等及び在籍料の取扱は別に定める。

通信教育部 総合福祉学部 ソーシャルワーク学科

納付区分 費用	入学検定料	入 学 金	授 業 料	施 設 費	合 計
出 願 時	5,000	-	-	-	5,000
入学手続時	-	10,000	-	-	10,000
前 期	-	-	75,000	-	75,000
後 期	-	-	75,000	-	75,000
年 額	-	-	150,000	-	150,000

注 修業年限を超えて履修する者は、学籍管理料として年額 50,000 円を納入するものとする。

## 変更の事由及び時期

### 1 変更の事由

本学に、新たにヒューマンデザイン学部医療 DX マネジメント学科及び同学部共生社会デザイン学科を設置するため学則の変更を行う。

### 2 変更の時期

令和8年4月1日

新旧対照表（日本医療大学学則）

新	旧
<p>第1条～第5条 略</p> <p>(学部、学科及び大学院)</p> <p>第6条 本学に、保健医療学部を置き、次の学科を置く。</p> <p>(1) 看護学科</p> <p>(2) リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻</p> <p>(3) 診療放射線学科</p> <p>(4) 臨床検査学科</p> <p>(5) 臨床工学科</p> <p>2 本学に、総合福祉学部を置き、次の学科を置く。</p> <p>(1) 介護福祉マネジメント学科</p> <p>(2) ソーシャルワーク学科</p> <p><b>3 本学にヒューマンデザイン学部を置き、次の学科を置く。</b></p> <p><b>(1) 医療DXマネジメント学科</b></p> <p><b>(2) 共生社会デザイン学科</b></p> <p><b>4</b> 本学に通信教育部を置き、通信教育部は総合福祉学部ソーシャルワーク学科に置く。</p> <p><b>5</b> 通信教育部の通信教育課程に関する事項は別に定める。</p> <p><b>6</b> 本学に、大学院を置き、次の研究科を置く。</p> <p>(1) 保健医療学研究科</p> <p><b>7</b> 大学院の学則は別に定める。</p> <p>以下 附則まで略</p> <p><b>附 則</b> <b><u>この学則は、令和8年4月1日から施行する。</u></b></p>	<p>第1条～第5条 略</p> <p>(学部、学科及び大学院)</p> <p>第6条 本学に、保健医療学部を置き、次の学科を置く。</p> <p>(1) 看護学科</p> <p>(2) リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻</p> <p>(3) 診療放射線学科</p> <p>(4) 臨床検査学科</p> <p>(5) 臨床工学科</p> <p>2 本学に、総合福祉学部を置き、次の学科を置く。</p> <p>(2) 介護福祉マネジメント学科</p> <p>(2) ソーシャルワーク学科</p> <p><b>【追加】</b></p> <p><b>3</b> 本学に通信教育部を置き、通信教育部は総合福祉学部ソーシャルワーク学科に置く。</p> <p><b>4</b> 通信教育部の通信教育課程に関する事項は別に定める。</p> <p><b>5</b> 本学に、大学院を置き、次の研究科を置く。</p> <p>(1) 保健医療学研究科</p> <p><b>6</b> 大学院の学則は別に定める。</p> <p>以下 附則まで略</p> <p><b>【追加】</b></p>

別表第1 入学定員及び収容定員  
通学課程

学部	学科	専攻	入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科		150人	600人
	リハビリテーション学科	理学療法 学専攻	100人	400人
		作業療法 学専攻	40人	160人
	診療放射線 学科		100人	400人
	臨床検査学 科		60人	240人
	臨床工学 科		60人	240人
総合福祉学部	介護福祉マ ネジメント 学科		40人	160人
	ソーシャル ワーク学科		80人	320人
ヒューマンデザイン学部	医療DXマ ネジメント 学科		40人	160人
	共生社会デ ザイン学科		80人	320人

通信課程

学部	学科	専攻	入学定員	収容定員
通信教育部 総合福祉学部	ソーシャル ワーク学科	3年次編 入	100人	400人
			100人	200人

別表第2 日本医療大学 教育課程

※ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科及び共生社会デザイン学科分については、別添1のとおり

別表第3 卒業要件

ヒューマンデザイン学部  
医療DXマネジメント学科

必修科目	29単位
選択科目	95単位以上
小計	124単位以上

共生社会デザイン学科

必修科目	61単位
選択科目	63単位以上
小計	124単位以上

別表第4 日本医療大学 入学検定料、入学金及び授業料等

別表第1 入学定員及び収容定員  
通学課程

学部	学科	専攻	入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科		150人	600人
	リハビリテーション学科	理学療法 学専攻	100人	400人
		作業療法 学専攻	40人	160人
	診療放射線 学科		100人	400人
	臨床検査学 科		60人	240人
	臨床工学 科		60人	240人
総合福祉学部	介護福祉マ ネジメント 学科		40人	160人
	ソーシャル ワーク学科		80人	320人

【追加】

通信課程

学部	学科	専攻	入学定員	収容定員
通信教育部 総合福祉学部	ソーシャル ワーク学科	3年次編 入	100人	400人
			100人	200人

別表第2 日本医療大学 教育課程

【追加】

※ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科及び共生社会デザイン学科の教育課程を追加

別表第3 卒業要件

【追加】

※ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科及び共生社会デザイン学科の卒業要件を追加

別表第4 日本医療大学 入学検定料、入学金及び授業料等

<p>ヒューマンデザイン学部 医療DXマネジメント学科</p> <p>※ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科及び共生社会デザイン学科分については、別添2のとおり</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p><b>【追加】</b></p> <p>※ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科及び共生社会デザイン学科の入学検定料、入学金及び授業料等を追加</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

別添1

ヒューマンデザイン学部 医療DXマネジメント学科

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎 教育 科目	人間と文化	人間の尊厳と自立	2 前		2	必修科目29単位、基礎教育科目の選択科目から12単位以上、専門基礎教育科目の選択科目から30単位以上、専門教育科目の選択科目から52単位以上
		倫理学	1 前		2	
		文化人類学	2 後		2	
		教育学	2 前		2	
		文学	2 後		1	
		北海道史	1 後		1	
		心理学と心理的支援	1 前		2	
		発達心理学	1 後		2	
	ボランティア活動	1 後		1		
	人間と社会	法学入門	1 後	2		
		政治学入門	2 前		1	
		経済学入門	1 後		1	
		経営学入門	1 前	1		
		行政法	2 前		2	
		マーケティング入門	1 後	1		
		統計学	1 前		2	
		会計学入門	1 前	2		
		簿記入門	1 後		2	
		社会学と社会システム	2 前		2	
		家族社会学	3 前		2	
	健康科学	生活科学	1 後		1	
		健康とスポーツⅠ	1 前	1		
		健康とスポーツⅡ	2 前		1	

語学	日本語表現	1 前	2	
	英語 I (基礎)	1 後	2	
	英語 II (実践基礎)	2 前		2
	英語 III (実践応用)	2 後		2
	中国語	2 前		2
	韓国語	1 後		2
社会福祉と情報の基礎	ヒューマンデザイン論	1 前	2	
	社会福祉の原理と政策 I	1 前		2
	社会福祉の原理と政策 II	1 後		2
	地域福祉と包括的支援体制 I	2 前		2
	地域福祉と包括的支援体制 II	2 後		2
	薬理学	2 前		1
	社会保障 I	2 前		2
	社会保障 II	2 後		2
	権利擁護を支える法制度	3 前		2
	保健医療と福祉	2 後		2
	医学概論	1 後	2	
	公衆衛生学	2 後		2
	医療ソーシャルワーク論	3 前		2
	ケアマネジメント論	3 後		2
	リーダー論	4 前		2
	リハビリテーション論	2 前		2
	ICF の理解	2 前		1
	福祉用具と福祉機器	4 前		1
	データサイエンス	1 後		2
	情報リテラシー	1 前		2
医療情報概論	1 後		2	
コンピュータシステム	1 前		2	
マネジメントの基礎	医療のしくみ	1 前	2	
	地域医療連携とチーム医療	3 前		2
	地域活性化と地域医療	3 前	2	
	統計解析	2 前		2
	会計学 I	2 前		2
	簿記応用	2 前		2
	経営戦略	2 後		2
	経営分析論	3 前		2

専門 教育 科目	マネジメント理論	医療経済学	3 前		1
		医療流通システム論	2 前		2
		医療マーケティング	2 後		2
		原価計算	2 後		2
		会計学Ⅱ	2 後		2
		監査論	3 前		2
		医療経営戦略	4 前		2
		組織心理学	4 前		2
		経営管理論	3 前		2
		人的資源管理論	3 後		2
		企業法務	4 後		2
	医療管理と実務	医療管理総論	2 前		2
		医療安全・臨床倫理	3 後		1
		医療管理各論Ⅰ	2 後		2
		医療管理各論Ⅱ	2 後		1
		医療管理各論Ⅲ	3 前		2
		医療関連法規	4 前		2
		診療報酬請求事務Ⅰ	3 前		2
		診療報酬請求事務Ⅱ	3 後		2
		こころとからだのしくみ	2 前		2
	認知症ケア論	4 前		2	
	医療情報マネジメント	医療 DX ワークショップ A	1 前		1
		医療 DX ワークショップ B	1 後		1
		医療 DX ワークショップ C	2 前		1
		医療情報システム論	2 前		2
		データベース基礎	2 前		2
		データベース応用	2 後		2
		データ構造とアルゴリズム	3 前		2
		通信ネットワーク	2 後		2
		情報セキュリティ	3 後		2
		臨床データ分析Ⅰ	2 後		2
		臨床データ分析Ⅱ	4 前		2
		画像情報処理	3 後		2
		プログラミング演習Ⅰ	2 前		2
プログラミング演習Ⅱ		2 後		2	
AI 基礎	3 前		2		
ユニバーサルデザイン概論	1 後		2		
ユニバーサルデザイン演習	3 通		4		

		プロジェクトマネジメント	4前		2
地域マネジメント		事業構想論	1後		1
		持続可能社会と地域医療福祉経営	3後	2	
		サービス産業論	2前		1
		地域連携実践	2後	2	
		ソーシャル・ビジネス	1後		2
総合科目		基礎演習	1通	2	
		専門演習Ⅰ	3通	2	
		専門演習Ⅱ	4通	2	
		卒業研究	4通		4

ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基礎教育科目	人間と文化	人間の尊厳と自立	2前		2	必修科目61単位、基礎教育科目の選択科目から12単位以上、専門基礎教育科目の選択科目から21単位以上、専門教育科目の選択科目から30単位以上
		倫理学	1前		2	
		文化人類学	2後		2	
		教育学	2前		2	
		文学	2後		1	
		北海道史	1後	1		
		心理学と心理的支援	1前	2		
		発達心理学	1後	2		
		ボランティア活動	1後	1		
		健康・医療心理学	4後		2	
	福祉心理学	4前		2		
	教育・学校心理学	4前		2		
	人間と社会	法学入門	1後	2		
		政治学入門	2前		1	
		経済学入門	1後		1	
		経営学入門	1前		1	
		行政法	2前		2	
		マーケティング入門	1後		2	
		統計学	1前		2	
		会計学入門	1前		2	
簿記入門		1後		2		
社会学と社会システム		2前	2			
家族社会学	3前		2			

健康科学	生活科学	1 後		1	
	健康とスポーツ I	1 前	1		
	健康とスポーツ II	2 前		1	
	語学	日本語表現	1 前	2	
		英語 I (基礎)	1 後	2	
		英語 II (実践基礎)	2 前		2
		英語 III (実践応用)	2 後		2
		中国語	2 前		2
		韓国語	1 後		2
専門基礎教育科目	社会福祉の基礎	ヒューマンデザイン論	1 前	2	
		共生社会デザイン論	1 後	2	
		社会福祉の原理と政策 I	1 前	2	
		社会福祉の原理と政策 II	1 後	2	
		ソーシャルワークの原理	1 後	2	
		地域福祉と包括的支援体制 I	2 前	2	
		地域福祉と包括的支援体制 II	2 後	2	
		社会保障 I	2 前	2	
		社会保障 II	2 後	2	
		貧困に対する支援	3 前		2
		高齢者福祉	1 後		2
		障害者福祉	1 前		2
		児童・家庭福祉	2 後		2
		権利擁護を支える法制度	3 前	2	
		刑事司法と福祉	4 前		2
		保健医療と福祉	2 後	2	
		医学概論	1 後	2	
		人体の構造と機能及び疾病	2 前		2
		ソーシャルワークの基盤と専門職 I	1 前	2	
		社会福祉調査の基礎	2 前		2
		国際医療福祉論	3 後		2
		公衆衛生学	2 後		2
		公認心理師の職責	2 前		2
		臨床心理学概論	2 後		2
		心理学研究法	3 前		2
		心理学統計法	3 後		2
心理学実験	3 前		2		
心理的アセスメント	4 前		2		
心理学的支援法	3 後		2		

		カウンセリング	2 後		2
		医療ソーシャルワーク論	3 前		2
		ケアマネジメント論	3 後		2
		リーダー論	4 前		2
		リハビリテーション論	2 前	2	
		ICF の理解	2 前	1	
		福祉用具と福祉機器	4 前		1
	医療マ・福祉経営の基礎	医療情報概論	1 前		2
		医療情報システム論	1 後		2
		情報リテラシー	1 前	2	
		地域医療連携とチーム医療	3 前		2
		地域活性化と地域医療	3 前		2
		福祉サービスの組織と経営	3 後	2	
		介護施設経営	4 前	2	
専門教育科目	ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	4 前		2
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1 後	2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2 前	2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2 後		2
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3 前		2
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅴ	3 後		2
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅵ	4 前		2
		精神医学と精神医療Ⅰ	3 前		2
		精神医学と精神医療Ⅱ	3 後		2
		現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	1 後		2
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2 前		2
		精神保健福祉の原理Ⅰ	2 前		2
		精神保健福祉の原理Ⅱ	2 後		2
		精神保健福祉制度論	3 後		2
		精神障害リハビリテーション論	4 前		2
		スクールソーシャルワーク論	3 前		2
		知覚・認知心理学	3 後		2
		学習・言語心理学	3 前		2
		感情・人格心理学	4 前		2
		神経・生理心理学	4 前		2
		社会・集団・家族心理学	3 前		2
障害者（児）心理学	3 後		2		
司法・犯罪心理学	4 前		2		
産業・組織心理学	4 後		2		

		関係行政論(心理)	4 前		2
		医療的ケア	4 後		2
		終末期ケアとソーシャルワーク	4 前		2
		認知症ケア論	4 前		2
医療 DX・福祉管理運営の実践		医療 DX ワークショップ A	1 前		1
		医療 DX ワークショップ B	1 後		1
		医療 DX ワークショップ C	2 前		1
		経営管理論	3 前		2
		人的資源管理論	3 後		2
		医療管理総論	2 前		2
		医療安全・臨床倫理	3 後		1
		持続可能社会と地域医療福祉経営	3 後		2
		地域連携実践	2 後		2
		ソーシャル・ビジネス	1 後		2
ソーシャルワーク演習		ソーシャルワーク演習Ⅰ	2 前	1	
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2 後		2
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 前		1
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	4 後		1
		ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神)	3 前		1
		ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神)	3 後		1
		ソーシャルワーク演習Ⅶ(精神)	4 前		1
		スクールソーシャルワーク演習	3 後		1
		心理演習	4 前		2
ソーシャルワーク実習		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2 後		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3 通		2
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	3 後		1
		ソーシャルワーク実習指導Ⅳ(精神)	4 通		2
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	3 通		6
		ソーシャルワーク実習Ⅱ(精神)	4 通		5
		スクールソーシャルワーク実習指導	4 前		1
		スクールソーシャルワーク実習	4 後		3
		心理実習	4 後		2
総合科目		基礎演習	1 通	2	
		専門演習Ⅰ	3 通	2	
		専門演習Ⅱ	4 通	2	
		卒業研究	4 通		4

別添2

ヒューマンデザイン学部 医療DXマネジメント学科

納付区分 費用	入学検定料	入 学 金	授 業 料	施 設 費	合 計
出 願 時	30,000	-	-	-	30,000
入学手続時	-	300,000	-	-	300,000
前 期	-	-	600,000	50,000	650,000
後 期	-	-	600,000	50,000	650,000
年 額	-	-	1,200,000	100,000	1,300,000

注 休学する者は、在籍料を納入するものとする。休学時の授業料等及び在籍料の取扱は別に定める。

ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科

納付区分 費用	入学検定料	入 学 金	授 業 料	施 設 費	合 計
出 願 時	30,000	-	-	-	30,000
入学手続時	-	300,000	-	-	300,000
前 期	-	-	400,000	50,000	450,000
後 期	-	-	400,000	50,000	450,000
年 額	-	-	800,000	100,000	900,000

注 休学する者は、在籍料を納入するものとする。休学時の授業料等及び在籍料の取扱は別に定める。

## 日本医療大学教授会規程

平成26年4月1日制定

### (目的)

第1条 この規程は、日本医療大学学則第46条の規定に基づき、各学部に教授会を置く。各学部の教授会（以下「教授会」という。）の組織運営等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

### (構成員)

第2条 教授会は、学部長、専任の教授及び准教授をもって組織する。ただし、学部長が必要と認めた場合は、その他専任教員を加えることができる。

2 通信教育部の専任の教授及び准教授は、関係する学部の教授会の構成員とする。

### (意見を求める事項)

第3条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が定めるもの。

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、学長及び学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

### (議長)

第4条 教授会の議長は学部長とする。学部長に事故あるときは学部長があらかじめ指名した教授がこれにあたる。

2 議長は、教授会を主宰する。

### (招集)

第5条 教授会は、原則月1回開催し、議長が招集する。

2 議長は、原則として教授会開催の2日前までに開催の日時、場所及び付議事項を各構成員に書面により通知しなければならない。

3 緊急を要する場合は、議長が相当と認める方法によって招集することができる。

### (成立要件)

第6条 教授会は、構成員の過半数をもって成立する。ただし、教授会開催日の不在者のうち次の者は教授会構成員数から除くものとする。

(1) 休職者

(2) 留学研修中の者

### (回議)

第7条 議長は、第3条に掲げる意見を求める事項のうち、簡易かつ教授会を招集する時間が無い場合は、書類を持ち回ることにより議決を求めることができる。

(議案の提出)

第8条 教授会への議案の提出は、議長が行う。

(議決数)

第9条 議決を要する事項については、出席構成員の過半数以上の賛成をもって決定する。

(発言)

第10条 発言は、すべて議長の許可を得てしなければならない。

(採決の方法)

第11条 議案について採決をする場合には、口頭、挙手又は無記名投票の方法により、議長がこれを定める。

2 口頭による採決は、付議事項について異議の有無を問う方法によることができる。

(書記)

第12条 書記は、第21条に規定する大学事務局が行う。

(議事録の作成)

第13条 教授会の議事については、議事録を作成しなければならない。

2 議長は、議事録の作成を書記に補佐させるものとする。

3 書記は、議事の経過を明確に記録するために、議長の許可を得て発言し、必要な確認をすることができる。

4 出席構成員から議事録について異議のあった場合は、その申出に基づいて、次の教授会に諮って、議長がこれを確認しなければならない。

(議事録)

第14条 議事録には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 教授会の開催日時及び場所
- (2) 開会及び閉会に関する事項
- (3) 構成員現在数
- (4) 出席及び欠席構成員の氏名
- (5) 議案の件名
- (6) 議事の経過概要
- (7) 議決事項
- (8) その他議長が必要と認めた事項

2 議事録は、常にこれを事務局長が保管するものとする。

(議事録署名人)

第15条 議事録には、議長及び議長の指名する議事録署名人がこれに署名及び押印しなければならない。

(関係者の出席)

第16条 議長は、必要があると認めるときは、関係者を教授会又は第20条に規定する委員会等に出席を求めることができる。

(議事録の閲覧等)

第17条 教授会議事録は、本学の教職員に限り閲覧することができるものとする。

2 議事録閲覧は、指定された方法により行う。

(欠席等の届出)

第18条 教授会構成員がやむを得ない事由によって欠席、遅刻又は早退するときは、原則として事前にその事由を付した書面をもって議長に届け出るものとする。

(周知の措置)

第19条 事務局長は、教授会の議決事項のうち、構成員以外の者に関係ある事項については、周知の処置を行わなければならない。

(教授会内委員会等の設置)

第20条 教授会は、専門的事項について調査及び検討するため、教授会内に委員会等を置くことができる。

(事務の所管)

第21条 教授会の事務は、大学事務局において所管する。

(補 則)

第22条 この規程に定めるもののほか、教授会の運営について必要な事項は、別に定める。

(改 廢)

第23条 この規程の改廢は、学長が教授会に意見を求め、理事会の議を経て、理事長が行う。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

## 日本医療大学教授会の審議事項について

(学長裁定 平成 27 年 4 月 1 日)

### 1 趣 旨

日本医療大学教授会規程第 3 条第 1 項第 3 号の規定により、学長が定めるものは、次のとおりとする。

- (1) 教育課程の編成
- (2) 教員の教育研究業績等の審査
- (3) 学生に対する懲戒処分
- (4) 学部長候補者の推薦

2 この学長裁定は、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。